

大会名 サンシャインカップ #2 (キプロス Amathous)

BH RACING MTB TEAM 恩田祐一

日時 3月8日 (日)

天候 晴れ

周回数 スタートループ + 5.6km x 5 周回

結果 19 位

先週のステージレースに続き、キプロスのサンシャインカップ#2 C1 のレースに出場した。先週 4 レースをこなし、体が高強度にも慣れてきて、あきらかに先週よりもコンディションが上がっている事を感じ、レースを迎えた。

レース前日に試走を行ったが、日本では走った事がないようなボコボコしたコースで、バイクを進ませる事が非常に難しい印象を受けた。これだけでも経験値というものが上がったと思えた。

レース当日も体のフィーリングは良い状態で会場入りし、ウォーミングアップ、スタートループの確認をし、スタート位置についた。スタートコールは 29 番目。隙をつけばスタートである程度前に出れる位置だった。

日差しが強く、暑さを感じるくらいの中、スタートが切られた。スタートの反応は良く、一瞬の隙をついて前列の選手の前に入る事が出来た。しかし、舗装路に出たところでスピードに乗れず、最初のシングルトラックに入る時点では集団からやや遅れるかたちとなった。先週のレースもそうだったが、スタート直後からの位置争いのスプリントで遅れる点は、反省と改善が必要だと感じた。

コースのほとんどがボコボコした状態なので、ペダリングとバイクコントロール、ライン等に注意し、レースを進めていった。体のフィーリングは良かったので、抜き所を間違える事無く、冷静に一人一人パスしていった。暑さもあつたので、水分補給をこまめに行い、脱水にも注意した。

3 周回目の後半で、自分のいた集団から抜け出し、さらに前を追いかけ始めたが、

差がありすぎて背中が見えない状態での追走となった。

テクニカルな上り区間もあり、ライン、バイクコントロール、目線に気をつけ、なるべく足を付く事無くクリアする事を心がけた。バイクを真っ直ぐ走らせる技術がまだ足りなく、全周回で必ず足を付いてしまう場所があったのは残念だったが、そこ以外はなんとかクリアしていった。4周回目から単独走になったが、それまでのラップタイムを上回る事を目標に走り続けた。バイクトラブルの選手を数人抜いたが、自分が追っていた選手に追いつく事が出来ぬままフィニッシュを迎えた。

UCI クラス 1 のレースで完走出来た事はプラスになるが、スタートスプリントに対応出来ていない事、バイクを真っ直ぐ走らせる技術が足りない事、ボコボコした路面への対応など、まだまだ足りない部分を知る事が出来た。しかし、このような路面を経験し、レースで最後まで走れた事は、本当に良い経験となった。

次戦（3月14日）からは場所をアメリカに移しての戦いとなるが、キプロスでの経験を活かせるよう、コンディションを整えていきたい。

バイク：BH / Ultimate 27.5

フォーク：SR SUNTOUR / AXON WERX

タイヤ：SCHWALBE / RACING RALPH

ケミカル：HOLMENKOL

ヘルメット：Kabuto / ゼナード

グローブ：Kabuto / PRG-3

サングラス：CARRERA / C-TF02 レンズ (NXT)

時計：POLAR / RC3 GPS (心拍 MAX180 AVG163)

ネックレス：SEV

ドリンク：グリコ / パワープロダクション

サプリメント：グリコ / パワープロダクション

インソール：ホシノ B+Insole

パーソナルスポンサー：アークコミュニケーションズ

